

様式第2号

視察研修先	千葉県松戸市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	子育て施策について（送迎保育ステーション、駅前・駅ナカへの小規模保育施設の整備）		
感想・所見など			
<p>1. 文科省と厚労省が共に注目している待機児童施策だ。</p> <p>2. すぐやる課とマツモトキヨシで名を馳せている松戸市は21世紀型子育て施策で日本一とのこと（日経新聞）。私は1期生時、学校給食の視察に来たことを記憶している。</p> <p>3. 視察項目は幼稚園の空定員を活用したもので、開所時間は7：00～19：00間の12時間体制である。</p> <p>4. 松戸市の幼稚園入園率は51.5%であり、県平均の43.8%を遥かに超えている現況。</p> <p>5. 今後の課題については「こども誰でも通園制度」と「インクルーシブ保育（障害児+医療的ケア児）」への変化対応を求められている。</p> <p>6. 全国のモデルケースとなるよう、先進的かつ積極的に取り組むとの決意を見習うべし。</p>			

様式第2号

視察研修先	東京都昭島市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	アキシマエンス（昭島市教育福祉総合センター）について		
<p>感想・所見など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文理融合施設（鯨の骨と図書館その他）</li> <li>2. 蔵書数（40万冊）と館内の空間感覚の良さ</li> <li>3. 新書・文庫を揃えている肌理の細かさ</li> <li>4. 胸に抱えた幼児づれ母親が熱心に読書中であった</li> <li>5. 億に及ぶ選木材の凄さ</li> <li>6. 年間資料購入費は3,000万円とのこと（本市の4倍超）</li> </ol>			

様式第2号

視察研修先	神奈川県大和市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	「おひとりさま支援条例」と高齢のひとり暮らしの方を支援する取組について		
感想・所見など			
<p>1. 全10条から成り、去年6月に制定された条文を読む。第6条の（市民の役割）が肝。本人はもちろん、市民の心がけと意識が大事。</p> <p>2. 大和市には27km<sup>2</sup>に24万の市民が住む。1km<sup>2</sup>当たり9,000人とのこと。横浜へ20分、新宿には40分の交通の便が良い地である。</p> <p>3. 80の国・地域の外国人が住む大和市はコンビニ都市と呼ばれているような。健（幸）都市大和実現を目指して（理念）条例を制定した意欲に敬意を表したい。</p> <p>4. おひとりさまの居場所にある公園の健幸遊具は我が市でも模倣することが出来そうだ。足腰は第二の心臓とも言われているので、ぜひ鍛えていただきたい。</p> <p>5. 転ばぬ先の杖たる「エンディングノート」に私も記入してみた。脳活不足のせいか筆が止まった。よほど気合いを入れないと全て記入するのは困難だ。</p>			

様式第2号

視察研修先	埼玉県富士見市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	フレイルチェック事業について		
<p>感想・所見など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 富士見市担当部局の方によると「フレイルという言葉は未だ普及していない」だそうです。これはフロントランナーとしての悲哀か。前進を望む。</li> <li>2. 東大式フレイルチェックの導入は26都道府県101市区町村に及んでいる。我が山形県は空白地だ。いい所取り目指すべき時。</li> <li>3. ヒトの筋肉量は30歳より毎年1%ずつ低下し、80歳時には半分に到るとの知見。正に貯金（も大事だが）より貯筋（肉）だ。</li> <li>4. フレイルイレブンチェックをやってみた。自分の心身は十分に呆化しているようだ。貯金より貯筋（肉）がもっと大事。</li> </ol>			